

上場会社名 株式会社 WOWOW

コード番号 4839 URL <http://www.wowow.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 晃

問合せ先責任者 (役職名) IR経理局長

(氏名) 尾上 純一

TEL 03-4330-8097

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	39,240	5.5	5,173	2.7	5,529	4.5	3,827	8.6
28年3月期第2四半期	37,182	5.2	5,037	△8.7	5,293	△9.6	3,525	△7.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 3,338百万円 (7.7%) 28年3月期第2四半期 3,100百万円 (△18.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	141.81	—
28年3月期第2四半期	130.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	71,695	46,095	64.3
28年3月期	63,452	44,646	70.4

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 46,095百万円 28年3月期 44,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 28年3月期期末配当金の内訳 普通配当60円00銭 開局25周年記念配当10円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,800	2.0	9,000	△0.9	9,300	△2.3	6,400	△4.6	237.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示、(3) 追加情報」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	28,844,400 株	28年3月期	28,844,400 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	1,853,130 株	28年3月期	1,853,130 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	26,991,270 株	28年3月期2Q	26,991,293 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「経営成績に関する説明」及び3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は平成28年10月28日(金)に機関投資家向けの決算説明会を開催いたします。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 販売の状況	11
(2) 四半期個別業績情報(参考)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き穏やかな回復基調で推移しましたが、中国をはじめとする新興国経済の下振れ等により先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、累計正味加入件数の増加に伴う有料放送収入の増加や、E C（電子商取引）ショップ等でのグッズ販売の増加等により、売上高は392億40百万円と前年同期に比べ20億58百万円（5.5%）の増収となりました。番組に戦略的な費用投下を行ったことにより番組費は増加しましたが、販管諸費用については効果的・効率的な投下等に努めた結果、営業利益は51億73百万円と前年同期に比べ1億35百万円（2.7%）の増益、経常利益は為替差益の増加等により55億29百万円と前年同期に比べ2億36百万円（4.5%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は38億27百万円と前年同期に比べ3億2百万円（8.6%）の増益となりました。

当社グループは、放送衛星を使った放送事業に係るサービスを行う「放送」、放送事業に係る顧客管理業務を含む「テレマーケティング」の2つを報告セグメントとしております。各セグメントの状況は次のとおりです。

<放送>

当第2四半期連結累計期間におきましては、WOWOW開局25周年記念として大型番組を投入するとともに、WOWOWブランド強化に向けた編成・コンテンツ戦略の強化に取り組むことで、新規加入獲得や解約抑止に努めました。

スポーツでは、4年に一度のサッカーの祭典「UEFA EURO 2016™ サッカー欧州選手権」や、「全仏オープンテニス」、「ウィンブルドンテニス」、「全米オープンテニス」等のテニスが、音楽では、ライブ活動の無期限休止を発表した氷室京介のラストライブが、新規加入を牽引しました。

オリジナルドラマでは、日本を代表する作家・山崎豊子の最高傑作をWOWOWでは過去最長となる全20話で描いた「連続ドラマW 沈まぬ太陽」が好評を得ました

映画製作では、WOWOW FILMS「秘密 THE TOP SECRET」や、WOWOW FILMS製作参加作品「アイムアヒーロー」、「64-ロクヨン-前編/後編」、「後妻業の女」を公開しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における放送セグメントの売上高は364億19百万円と前年同期に比べ4億75百万円（1.3%）の増収、セグメント利益は52億99百万円と前年同期に比べ4億25百万円（8.7%）の増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の新規加入件数等は次表のとおりとなりました。複数契約（注）は、当第2四半期末時点において421,221件（前年同期末に比べ4,213件の増加）となっております。

（注）当社は同一契約者による2契約目と3契約目につき月額2,484円（税込み）の視聴料金を972円（税込み）に割引しており、当該割引の対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。

	新規加入件数	解約件数	正味加入件数	累計正味加入件数
加入及び解約件数 (対前年同期増減率)	312,662 (△0.8%)	275,810 (2.9%)	36,852 (△21.6%)	2,841,526 (1.4%)

<テレマーケティング>

連結子会社の株WOWOWコミュニケーションズにおいて、テレマーケティング業務受託、各種コンタクトセンター受託運営等を行っております。当第2四半期連結累計期間におけるテレマーケティングセグメントの売上高は、新規外部顧客からのテレマーケティング業務の受注の増加やE Cショップ等でのグッズ販売の増加により外部売上が増加したこと等により、45億87百万円と前年同期に比べ14億46百万円（46.1%）の増収となりましたが、成長戦略の一環として実施した横浜拠点（本社及びコンタクトセンター）移転に伴う費用等が発生したため、セグメント損失は1億26百万円（前年同期は1億28百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は716億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ82億43百万円の増加となりました。主な要因は、流動資産で現金及び預金、番組勘定が増加したことによるものです。

(負債)

負債は255億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ67億93百万円の増加となりました。主な要因は、流動負債で買掛金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は460億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億49百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ6.1ポイント減少し、64.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の期末残高は、前連結会計年度末に比べ16億93百万円増加し、182億19百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は44億66百万円（前年同期比24億34百万円増）となりました。主なプラス要因は、仕入債務の増加額65億69百万円、税金等調整前四半期純利益55億5百万円及び減価償却費16億64百万円の計上等であり、主なマイナス要因は、たな卸資産の増加額61億40百万円、法人税等の支払額14億58百万円及びその他の資産の増加額11億32百万円等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は8億9百万円（前年同期比11億13百万円減）となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出4億5百万円及び有形固定資産の取得による支出3億44百万円等です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は19億53百万円（前年同期比3億9百万円増）となりました。主な要因は、配当金の支払額18億89百万円等です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28（2016）年5月13日に公表した連結業績予想の修正は行っておりません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、当第2四半期連結会計期間末において以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- ① 加入者獲得・維持に関わるリスク
- ② 加入代理店等に関わるリスク
- ③ BS（放送衛星）利用に関わるリスク
- ④ 当社の地上設備に関するリスク
- ⑤ B-CASカードのセキュリティーに関わるリスク
- ⑥ コンテンツに関わるリスク
- ⑦ 映画製作・配給投資に関わるリスク
- ⑧ 著作権などの知的所有権に関わるリスク
- ⑨ 放送関連法制度に関わるリスク
- ⑩ 加入者の個人情報保護に関わるリスク
- ⑪ 為替レートの変動に関するリスク

各リスク項目の詳細につきましては、平成28年3月期決算短信(平成28年5月13日提出)添付資料4ページの「1. 経営成績・財政状態に関する分析 (4) 事業等のリスク」をご覧ください。当社決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ウェブサイト(IR資料室))

http://www.wowow.co.jp/co_info/ir/ref/

(東京証券取引所ウェブサイト(上場会社情報検索ページ))

<http://www.jpx.co.jp/listing/co-search/01.html>

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報
(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,215	19,740
売掛金	4,426	4,402
商品及び製品	78	192
番組勘定	14,320	20,340
貯蔵品	60	66
繰延税金資産	1,112	1,207
その他	1,225	2,082
貸倒引当金	△123	△101
流動資産合計	39,315	47,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,472	2,515
機械及び装置（純額）	4,478	4,077
工具、器具及び備品（純額）	1,163	1,109
その他（純額）	51	—
有形固定資産合計	8,164	7,702
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
その他	2,218	2,147
無形固定資産合計	7,229	7,158
投資その他の資産		
投資有価証券	7,371	7,333
繰延税金資産	539	649
その他	854	944
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	8,742	8,904
固定資産合計	24,137	23,765
資産合計	63,452	71,695

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,521	17,117
未払法人税等	1,485	1,745
賞与引当金	67	69
その他	4,958	4,518
流動負債合計	17,032	23,452
固定負債		
退職給付に係る負債	1,620	1,615
その他	153	532
固定負債合計	1,773	2,147
負債合計	18,806	25,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	2,738	2,738
利益剰余金	39,629	41,568
自己株式	△3,081	△3,081
株主資本合計	44,287	46,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	508	416
繰延ヘッジ損益	△149	△545
その他の包括利益累計額合計	359	△129
純資産合計	44,646	46,095
負債純資産合計	63,452	71,695

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	37,182	39,240
売上原価	19,591	21,426
売上総利益	17,591	17,814
販売費及び一般管理費	12,553	12,641
営業利益	5,037	5,173
営業外収益		
受取利息	3	6
為替差益	73	141
持分法による投資利益	144	171
その他	39	37
営業外収益合計	260	356
営業外費用		
その他	5	0
営業外費用合計	5	0
経常利益	5,293	5,529
特別損失		
固定資産除却損	9	24
ゴルフ会員権評価損	8	—
特別損失合計	17	24
税金等調整前四半期純利益	5,276	5,505
法人税、住民税及び事業税	1,655	1,679
法人税等調整額	95	△2
法人税等合計	1,750	1,677
四半期純利益	3,525	3,827
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,525	3,827

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	3,525	3,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△139	△92
繰延ヘッジ損益	△288	△402
持分法適用会社に対する持分相当額	3	6
その他の包括利益合計	△424	△488
四半期包括利益	3,100	3,338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,100	3,338

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,276	5,505
減価償却費	1,483	1,664
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△99	△21
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5	2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	65	△4
受取利息及び受取配当金	△25	△30
為替差損益 (△は益)	△7	183
持分法による投資損益 (△は益)	△44	△71
ゴルフ会員権評価損	8	—
固定資産除却損	9	24
売上債権の増減額 (△は増加)	179	23
前受収益の増減額 (△は減少)	122	2
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△265	△6,140
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,661	6,569
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△184	△681
その他の資産の増減額 (△は増加)	△91	△1,132
その他の負債の増減額 (△は減少)	△243	△1
その他	—	2
小計	4,526	5,893
利息及び配当金の受取額	25	30
法人税等の支払額	△2,520	△1,458
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,031	4,466
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,551
定期預金の払戻による収入	—	1,547
有形固定資産の取得による支出	△1,452	△344
無形固定資産の取得による支出	△518	△405
貸付けによる支出	△0	△0
敷金及び保証金の差入による支出	△1	△64
敷金及び保証金の回収による収入	64	9
その他	△15	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,923	△809
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△23	△63
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,619	△1,889
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,643	△1,953
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	△10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,523	1,693
現金及び現金同等物の期首残高	15,521	16,526
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	29	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,027	18,219

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2.
	放送	テレマーケテ ィング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,415	2,825	39,240	—	39,240
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	1,761	1,765	△1,765	—
計	36,419	4,587	41,006	△1,765	39,240
セグメント利益又は損失(△)	5,299	△126	5,173	—	5,173

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は連結調整によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における売上高実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高(百万円)	前年同四半期比(%)
放送	36,415	101.3
テレマーケティング	2,825	227.6
合計	39,240	105.5

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3. 放送セグメントには有料放送収入34,842百万円を含んでおります。

(2) 四半期個別業績情報(参考)

① 個別経営成績(累計)・個別財政状態

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	36,163	1.3	5,210	10.6	5,598	10.5	3,862	13.4
28年3月期第2四半期	35,703	5.2	4,709	△13.5	5,066	△12.3	3,405	△9.2

	総資産		純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年3月期第2四半期	65,175	40,683		
28年3月期	57,220	39,205		

(注) 個別経営成績(累計)・個別財政状態の数値は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

② 平成29年3月期の個別業績予想

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
29年3月期	72,900	1.1	9,100	1.8	6,300	△0.8	233.41

(注) 当四半期における業績予想の修正はありません。